

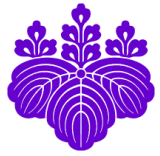


動画を見てみよう

let's watch the movie



5月13日撮影



筑波大学
University of Tsukuba

泥はね、減らしてかない？

都市計画実習 防災班

◎三中 圭祐

○齋藤 貴史

川崎 薫

山口裕太郎

米今絢一郎

堀口 健吾

堀 龍一

花井 貴一

担当教員：糸井川 栄一

TA：土方 孝将



5月13日撮影



定義する

泥はね

車や自転車などの走行車が
水や泥をはねて他人にかけること

Q 泥はね運転の罰って??

運転者の遵守事項（道路交通法第71条）

ぬかるみ又は水たまりを通行するときは、泥除け器をつけ、又は徐行するなどして、泥土、汚水等を飛散させて他人に迷惑を及ぼすことがないようにすること



先行研究

梅村らによる走行車による水跳ねの研究（1990）
水跳ねの発生過程を物理的に研究

事例

札幌交通株式会社による運輸安全マネジメント（2011）
事故防止の取り組みとして「泥はね運転の防止」と明記

この班で何をしたいだろうか？



目的

p u r p o s e



まず背景として...

班員の7/8が被害を受けていた！

具体的な被害として...

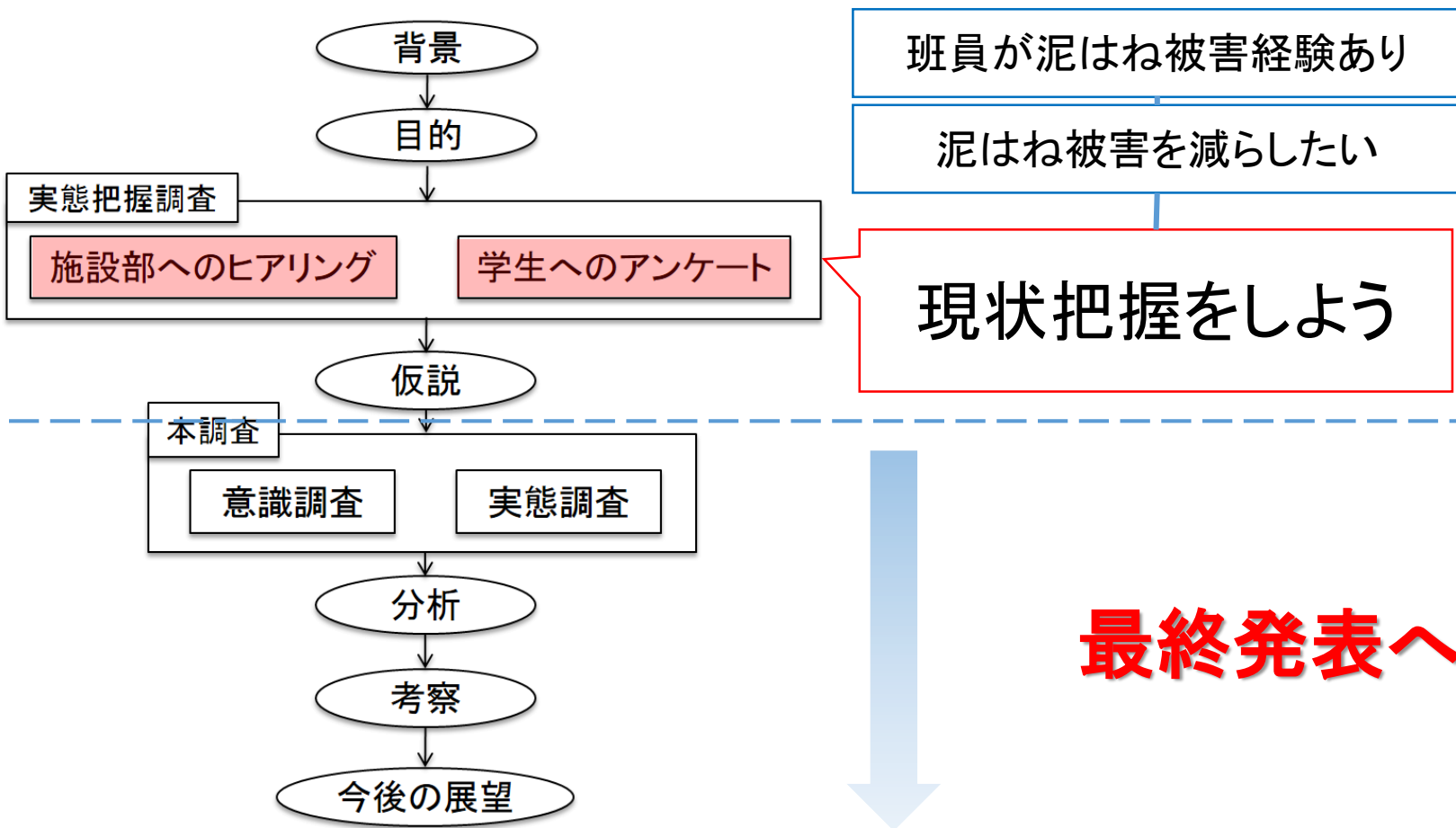
服や鞆がびしょ濡れになったり
風邪を引いてしまうこともある
班員は皆**被害を受けっぱなし！**

被害者側・加害者側双方の立場から対策を考えて
泥はね被害を減らしたい！



現状把握をしよう

s t a t e





ヒアリング調査概要

h e a r i n g

目的

- 泥はね被害の原因・場所・件数を知る
- 泥はね被害を防ぐために行っている対策を知る

対 象（対応者）	日 時	質問内容
筑波大学施設部 （中島景行様）	2015年5月1日 13時半～14時	<ul style="list-style-type: none">• 被害原因・件数・場所• 対応や対策手段
筑波大学学生生活課 （吉田あかり様）	2015年5月1日	<ul style="list-style-type: none">• 学生からの泥はね被害報告内容・件数



学生生活課からの資料

f i l e

資料の内容

- ・ 学生・教職員・クラ連会から意見・要望
- ・ 直近2年分の道路の凹凸・水はけ・水はね関係の苦情

苦情例

- ・ 雨天時 水たまりができて危険
- ・ 水はけを改善してほしい

寄せられた冠水箇所

- ・ 大学内ループ道路東側
(写真＝陸上競技場周辺)
- ・ 自然系学系E棟前(第一エリア)など



施設部資料より



施設部へのヒアリング

h e a r i n g

対象：施設部

学生から年間**100件位**
苦情が来る

排水管の劣化・落葉で
水たまりができてしまう

問題のある場所は
応急工事はしている

大学の
泥はね(道路整備)の
実態は？



問題は把握してるけど
予算がない



プレアンケート概要

questionnaire



目的

泥はね被害の人数が多いのかを検証

質問内容

- ・ 自転車または自動車による被害経験があるか
- ・ // 加害経験があるか
- ・ 被害場所が筑波大学周辺であれば場所を知る

対 象	日 付	場 所
筑波大学生・職員等 計91名	2015年5月1日 14時～15時	第一エリア・第二エリア・ 第三エリア周辺

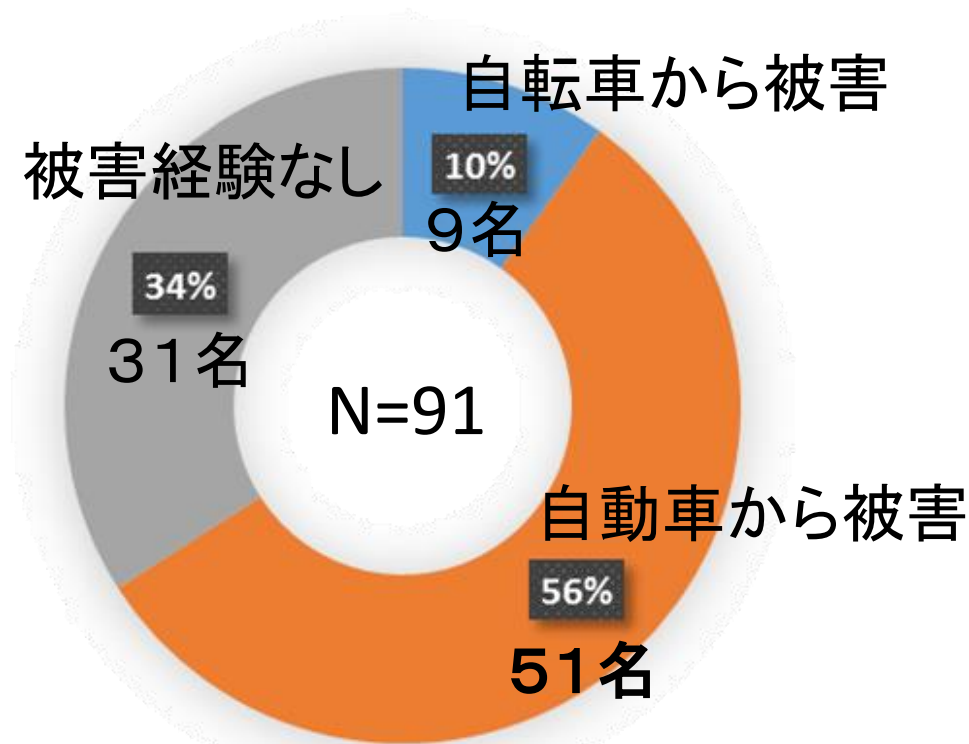


プレアンケート(被害を受けたか)

questionnaire

被害者サイド

被害を受けたことはありますか？



総回答数における割合

対象者の声

泣き寝入りだった
最悪だった
服が汚れてしまった

**3人に2人が
被害経験あり！**

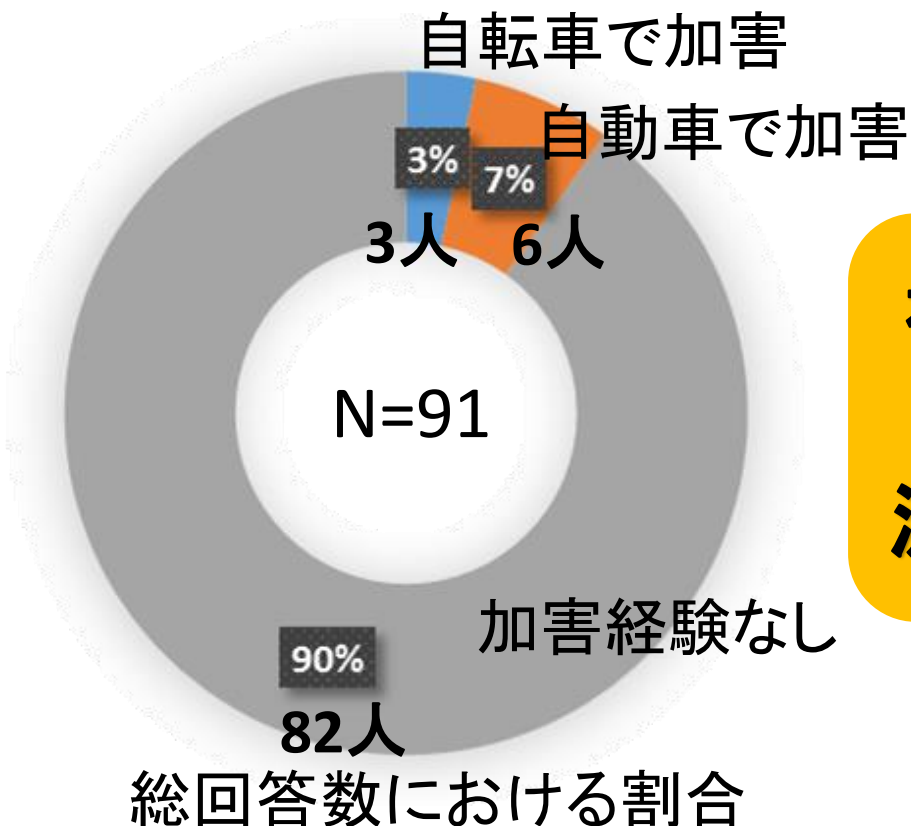


プレアンケート(加害したことがあるか)

questionnaire

加害者サイド

泥はねをしたことはありますか？



対象者の声

気が付いていないだけかも
運転中に気にしていない
加害した時申し訳ない

被害数と明らかな乖離

泥はねの自覚がない？



被害を受ける場所

questionnaire



陸上競技場



平砂学生宿舎、ココストア前

柴崎の交差点

開学記念館前

5月13日撮影

5月2日撮影

5月11日撮影

● = 被害発生箇所



見えてきたこと

what we found

- ハード面での対策が難しい(予算がない)
- 被害の報告が多数
- 多くの人が被害を経験
- 運転者は泥はねした自覚がない



- 被害の場所が分かれば避けることは可能？
- 泥はねに対する意識が低い？

**被害者・加害者側双方に対して
ソフト面によるアプローチがあるのでは？**



では何をしていくか

what we do

アンケート調査

被害者・加害者という二つの立場の
行動意向を見る

泥はね被害を減少させるには

どうやったら

被害を受けないような行動をするか

どうやったら

加害者にならないような意識になるか



仮説(被害者サイド)

hypothesis

被害者



被害者側

現在

I 被害者は被害地点を把握していない

行動意向
アンケート

被害地点を把握

未来

被害場所を迂回することにより
被害が減少する？



仮説(加害者サイド)

hypothesis

加害者



加害者側

現在

- I ドライバーマナーが悪い
- II 泥はねに対する罪や罰の意識が薄い

行動意向
アンケート

泥はね問題自体を意識させる
料料の認識

未来

泥はねの発生自体が減少し、
結果的に被害者が減る？



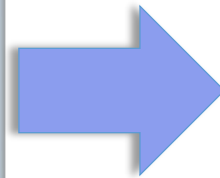
アンケートに記述すること

questionnaire

被害場所の把握やドライバー意識の調査

行動意向の調査 アンケート内容

- ・性別
- ・学年
- ・車を所有しているか
- ・泥跳ねを受けた経験は？
- ・泥跳ねをしてしまった経験は？
- ・泥跳ねを、受けた場所orしてしまった場所は？
- ・運転する際に気をつけていることは？
- ・反則金を知っているか？



アンケートから知りたいこと

- ・男女による行動の差異の確認
- ・筑波大学内及び周辺に何年いるか
- ・車による加害者側になりうる人物か
- ・被害の現状
- ・被害が多い場所
- ・運転者が持つ、**泥跳ねに対する意識**



まとめ

conclusion

話し合い

班員が8人中7人も泥はね被害を受けていた

ヒアリング

苦情約100件/年 予算がなくてハード対策できない

プレ
アンケート

2/3の確率で被害者がいた

アンケート

どうしたら行動意向を誘引できるか

対策

被害者サイド & 加害者サイド

提案

最終発表



謝 辞

- ・ 筑波大学学生課施設部 中島景行様
- ・ 筑波大学学生生活課 吉田あかり様

参考文献

- ・ 梅村章・大橋栄市・岡崎勝利・平野芳太郎(1990)
「走行車による水跳ねの研究」
『日本機械学会論 文集(C編)』56巻521号(1990-1)
- ・ 札幌交通(2011)「運輸安全マネジメント」; 2015年5月14日最終閲覧
<http://www.sapporo-taxi.co.jp/wp-content/uploads/2008/03/23nendo_annzen.pdf>